



つるさきじんじやほんでんこまいぬ
鶴崎神社本殿狛犬

本殿内左右に一对設置されている。制作年、作者とも不明であるが、形状や大きさ彩色など八幡神社本殿の狛犬に酷似していることから、同年代の天保年間（1830～1844）に奉納されたものと思われる。

左右とも木製で彩色が施され、表情からも威厳が伺える。また、頭には角が1本ある一角獣となっている。台は漆塗り。

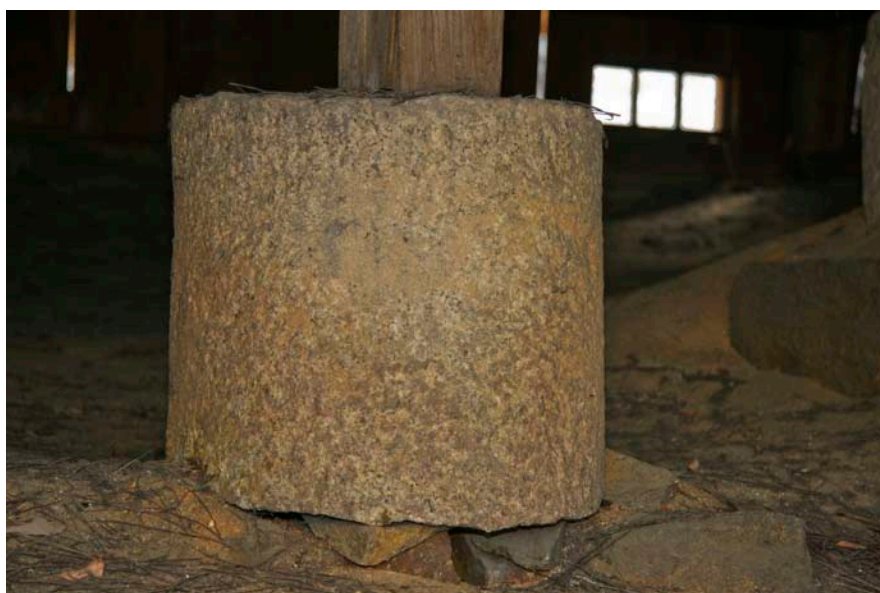
奉祈 社頭繁栄 氏子平穩

宮 司	広山泰三	総代	井谷一二	全	山崎政虎	全	安原恒雄	全	小田貞一
総代長	渡辺祐次郎	全	佐藤慎七	全	溝手広次	全	佐藤専一	全	山田政治
副総代長	永瀬金藏	全	大森主	全	小村貢次	全	松尾松治	全	幹事一同
全	真鍋伝夫	全	藤原理平	全	岡清次	全	小原順一	全	氏子中
総代会計	永原兼太郎	全	宝田鶴吉	全	赤木晋	全	藤原照男		
施工者	岡山市平和町	株式会社児島工務店	代表取締役児島義雄						



銅板葺き時の棟札（裏面）・昭和四十六年

本殿の柱石
鶴崎神社本殿と拝殿（貴賓室）に円柱形の柱石が数個使用されていた。一個ずつ調べてみると、鳥居の貫を差し込むための凹形の切り込みがある石もある事から、神社の石鳥居が天災か或いは事故により倒壊した為に、新しく作り直し、破損した柱を割って柱石としたのではないかとと思われる。この柱石に使った鳥居は随神門前の石鳥居と思われる。



鶴崎神社本殿の柱石

檜皮葺き時の棟札（表面）・大正十五年



檜皮葺き時の本殿遷座祭札（表面）・大正十五年

鶴崎神社 奉葺替檜皮御屋根 千木鯉木
大正十五年五月上棟
惣氏子 社司太田忠二



檜皮葺き時の本殿遷座祭札（裏面）・大正十五年

正遷宮太諄辭 産子安全 禱白
社頭康榮 五穀豊饒 大正十五年五月
社司太田忠二



銅板葺き時の棟札（表面）・昭和四十六年

大工頭梁 山手惣次郎 補助 山手春吉
屋根葺頭梁 児島善吉
氏子惣代 溝手諸平 河合光太郎 大崎
廣吉 栗坂又七 佐藤宇七郎 原清次郎
原金一 安原慶次郎 永瀬尚太郎 織田
豊太 藤原啓四郎 光畑長八 小野田虎
一 中村紋次郎 福森彌八 原田武七
大森全次郎



鶴崎神社御両社本殿御屋根銅板葺替
岡山県都窪郡早島町宮崎鎮座
昭和四十六年三月六日着工 五月五日竣工
昭和四十六年五月十五日正遷座祭齋行
十六日奉祝祭齋行